

【信頼される学校経営に向けて】学校経営8つの視点

【令和6年度】

2024年4月 津覇小学校 校長 和智 重徳

●教育者としての私の信条 「教育の目的は、子どもの幸福にある」

1 子どもの健康・安全、安心の確保はすべてに優先する

○組織的対応の徹底！

○常に相談：報告・連絡・相談・確認を

(★COCOLOプラン：誰一人取り残されない関わり、学びの場の保障・学べる環境を整備)

○いじめへの対応 (いじめはしない・させない・許さない) 全校体制での初期対応

2 子どもに向ける教師の目

→子どもに価値判断を置く：子どもが主人公

※「褒めて育てる」教育観

「インクルーシブ教育」(特別支援教育)の充実

○決めつけない「こんな児童だから」→一人ひとりの可能性を「信じ抜く」

○見捨てない「どうせできない。できないのは児童の責任だ。」→何があっても笑顔で「励まし続ける」

○諦めない ※夢実現への道筋を示して、たすきをつないであげるのが教師の仕事 →どこまでも支える

※「自己肯定感」を育てる

3 継承・発展

○先人の方々の努力で築き上げられたものを引き継ぎ、更に発展させる取組を！

・先人の意を汲み、努力の継続 → 津覇小学校の良い伝統を引き継ぐ

○新しくなった職員体制で、新しい風を！

・「よさ」の上に、新しい体制でできることを積み重ねる：「継承の心を積み重ね、『形』として残す」

R6 ※本校のキャッチフレーズ：「心はいつもダイヤモンド」→「誰も置き去りにしない！」大作戦

4 確実な遂行

→広い視野で全体を見ながら、目の前のことを確実に実行し、責任を果たす

○できることはしっかり取り組む

・「教育のプロ」としての誇りを！

○できることを広げ・深める：「教師の資質・授業力向上」

5 日常を大切に

○凡事徹底 → 教職員として、当たり前のことを当たり前のように確実に実践する

・毎時間の授業を重視 (チャイムと共に：45分間をしっかりと：立腰) → ※授業改善へ

・わかる授業 → 「主体的・対話的で深い学び」、「『問い』が生まれる授業」

・あいさつ (いつでも・どこでも・誰とでも・何度でも) (会釈)・返事・後始末 (教師の率先垂範)

・中城村共通実践事項：「中城ごさまる7」

○毎日の学年・教科・学級経営をしっかりと

・規律正しく、ぶれない：「凜として」

・学習環境を整える：「学びの雰囲気」づくり、黙働 (自問清掃)

「ここまでやるのか」のレベルでやらないと何も変わらない

・朝のボランティア活動：※師弟同行

・児童に寄り添い、児童と共に：「児童理解」

6 教師個々の対応力を高める「子どもにとって最大の教育環境は教師自身である」change Agent

○教師個々の意識向上を図る (一人一人が学校を変える、自分を変える) → 「子どもを育む」

○教職員の資質向上、職能成長を図る (校内研の充実、同僚性の向上、協働)

→「授業改善」：※県学力向上推進5か年プラン・プロジェクトII 3つの視点↓

※中頭重点取組事項 (①しっかり教える (組織的な関わり) ②じっくり考えさせる (学び・育ちの実感) ・

③たっぷり価値づける (自己肯定感の高まり))

取組1 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

取組2 「自学自習力」を育む取組の充実

取組3 「学習基盤としてのICT」による 児童生徒の学びに主体性を

育む取組の充実

7 組織力をめぐる (連携の充実：学校・保護者・地域)

○組織の機能・機動力向上を図る

○目標・視点を共有し、取組を有機的につなげる (目標管理、協働)

○組織・教師個々の特長を生かしつつ協働歩調で！ → “チーム津覇小”

8 働き方改革を推進する



※Agency (自分事として考えて行動する力・協働する力)